

令和7年度 中学校国語科授業づくり研修会

全国学力・学習状況調査を活用した授業づくりについて



1

全国学力・学習状況調査の結果から見られる 本県の課題を踏まえた授業づくり

「書くこと」 → 提案する文章を書く

「話すこと・聞くこと」 → スピーチをする

「読むこと」 → 文学的な文章を読む

参考「令和7年度 授業アイディア例」

2

提案する文章を書く(第1学年)

学習の流れ

- ①学習の見通しをもつ。
- ②昨年度の次第や参加者アンケートを読み、新入生説明会を充実させるアイディアを考える。
- ③自分が考えたアイディアを提案する文章を書く。
- ④書いた文章を検討する。
- ⑤自分の文章を改善する。
- ⑥書いた文章を読み合い、書き方のよかつた点を伝え合う。
- ⑦学習を振り返る。

提案する文章を書く

① 学習の見通しをもつ。



学校生活を送っていると「〇〇はもっとこうしたいな」といったアイディアが思い浮かびますね。それらのアイディアを実現するためには、アイディアを人に理解してもらったり、納得してもらったりする必要があります。今回は、新入生説明会について提案する文章を書くことを通じて、自分の考えが伝わる文章を書くための工夫の仕方について学習していきましょう。

学習指導要領における内容

(第1学年) 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと ウ

根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

《考え方の形成、記述》

学習の系統性を意識しよう

中学校 第1学年（思考力、判断力、表現力等）B 書くこと
ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

根拠を明確にするためには、まず、**自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめること**が必要である。その上で、自分の思いや考えを繰り返すだけではなく、**根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要**である。その際、例えば、根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することなどが考えられる。

小学校 第5学年及び第6学年（思考力、判断力、表現力等）B 書くこと
ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

5

授業アイディア例1 提案する文章を書く

② 昨年度の次第や参加者アンケートを読み、新入生説明会を充実させるアイディアを考える。

〔昨年度の次第〕

- 新入生説明会次第
1. 開会の言葉
 2. 校長先生の挨拶
 3. 学校生活について
 - ・学習
 - ・生活
 - ・行事
 4. 生徒会より

〔参加した小学生のアンケート〕

アンケート結果

・説明会に参加しての感想

小学校で使っていた道具で、
どれが中学校でも使うのか教えてほしかった。

行事の説明があったけれど、
小学校との違いがよく分からなかつた。

6



グループで資料の内容を確認して、新入生説明会を企画・運営する生徒会役員にどのような提案をするとよいかを考えましょう。

[生徒の話し合いの例]

「小学校で使っていた道具で、どれが中学校でも使うのか教えてほしかった。」という感想がありますね。

中学校でも使える道具は何かをクイズの形式で紹介したら、小学生も楽しく理解できると思います。



様々な方法がありそうですね。グループで出し合った意見を参考に、自分は参加者のアンケートのどの部分に注目して、どのような提案をしていきたいか決めましょう。

※ クラウド上のシート等に記入させ、相互参照できるようにすることが考えられる。

7

授業アイディア例1

提案する文章を書く

③ 自分が考えたアイディアを提案する文章を書く。



自分が考えたアイディアを生徒会役員に納得してもらうには、何をどのように書いたらよいのでしょうか。アイディアを提案する文章をまずは書いてみましょう。

[生徒が書いた文章の例]

私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズをするとよいと思います。絵の具など小学校で使っている道具を中学校の授業でも使うかどうかを、クイズで楽しく教えられると小学生も分かりやすいと思います。

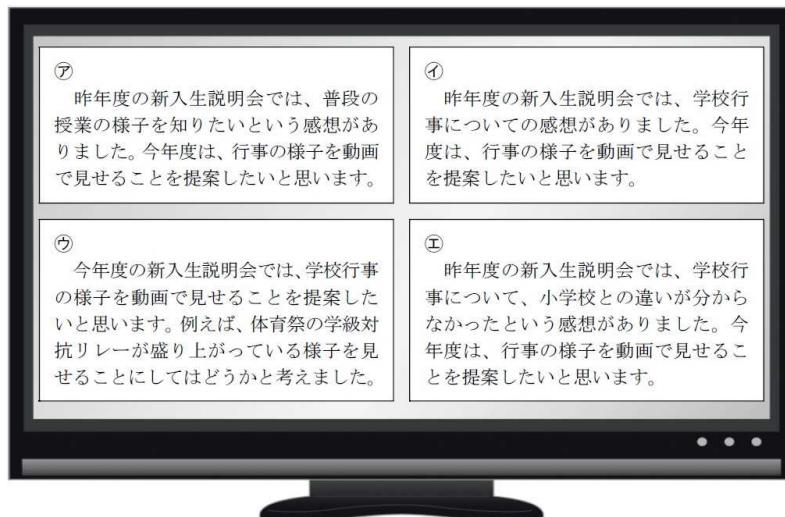
8

④ 書いた文章を検討する。



皆さん、いろいろな書き方で書いていますね。書き方の例をいくつか示します。読み手に納得してもらうための書き方として、それぞれのよい点や不十分な点はどこか考えてみましょう。

[書き方の例]



9

②

昨年度の新入生説明会では、普段の授業の様子を知りたいという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

①

昨年度の新入生説明会では、学校行事についての感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

④

今年度の新入生説明会では、学校行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。例えば、体育祭の学級対抗リレーが盛り上がっている様子を見せることにしてはどうかと考えました。

③

昨年度の新入生説明会では、学校行事についての感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

10

(ア)

昨年度の新入生説明会では、普段の授業の様子を知りたいという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

(イ)

昨年度の新入生説明会では、学校行事についての感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

(ウ)

今年度の新入生説明会では、学校行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。例えば、体育祭の学級対抗リレーが盛り上がっている様子を見せることにしてはどうかと考えました。

(エ)

昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

[生徒の話し合いの例]

ウは、何をするかはよく分かりますが、どこからそ
う考えたのかが不十分なので納得できません。アは
どこからそう考えたのか分かるので、納得できると
思います。

でも、アは、行事の動画を見せるという提案をして
いるけれど、取り上げている「授業の様子を知りた
い」という感想はこの提案に結び付いていませんよ。

イは、着目した感想は述べているけれど、どのよう
な感想か分からないので、この提案でよいのかよく
分かりません。

エは、取り上げた感想と提案がきちんと結び付い
ているし、感想の内容もよく分かるので、読み手も
納得できそうですね。

11



そうですね。エは、自分の考えだけでなく、その根拠を具
体的に書いてるので、納得できそうですね。でも、もう少し読み
手が理解しやすいように書くためには、**前の文と後の文の関係**
をはっきりと示したほうがいいですね。エに、どのような言葉を
入れると分かりやすくなりますか。

「今年度は、」の前に「そこで」や「だから」など、前の文と後の文をつなぐ言葉を
入れるとよいと思います。

[修正の例]

エ 昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分から
なかつたという感想がありました。**そこで**、今年度は、行事の様子を動画で見
せることを提案したいと思います。



読み手に納得してもらうためには、自分の考えを詳しく書くだ
けではなく、その根拠となる事実や事柄を示す必要があります
ね。また、その根拠を明確に示すために、自分の考えと根拠と
の関係を表す言葉を使って書くことも大切ですね。このような
視点で自分の文章を見直しましょう。

12

⑤ 自分の文章を改善する。

[生徒が修正した例]

私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズをするとよいと思います。絵の具など小学校で使っている道具を中学校の授業でも使うかどうかを、クイズで楽しく教えられると小学生も分かりやすいと思います。



昨年度の新入生説明会の感想に「小学校で使っていた道具でどれが中学校でも使うのか教えてほしかった」という声がありました。そこで私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズを提案します。具体的には、絵の具など小学校

- ・自分の考え方
- ・根拠
- ・関係を表す言葉

- ※ 必要に応じて、提案する内容と根拠を示す順序、接続する語句等について助言する。
- ※ 1人1台端末を活用するなどして、修正の前後が分かるように提出や保存、修正の仕方を工夫する。

⑥ 書いた文章を読み合い、書き方のよかつた点を伝え合う。



自分の考えが伝わるように根拠を明確にして提案する文章を書いてきましたが、実際の書き方にはどのような違いがあるでしょうか。お互いの文章を読んで、気付いたことを挙げてみましょう。

[クラウドでの共有の例]



[生徒の発言の例]

私は、先に感想を書いてから、自分のアイディアを説明しましたが、Aさんのように、先に提案したいアイディアを書いてから根拠となる感想に触れても分かりやすいと思いました。

私は「そこで」を使って意見と根拠を結び付けて書きましたが、Bさんは「これらを解決するためには」という言葉を使っていました。このような表現でも関係はしっかりと伝わりますね。

Cさんのように、一つのアイディアに対して複数の感想を根拠として取り上げていると、より必要性が感じられると思います。



気付いたことを踏まえて、自分の文章を見直してみましょう。見直して、修正したいところがあれば修正しましょう。

※ 1人1台端末を活用するなどして、修正の前後が分かるように提出や保存、修正の仕方を工夫する。

15

授業アイディア例1

提案する文章を書く

⑦ 学習を振り返る。



今回の自分の文章で、自分がどんな意図で、どのような工夫をして書いたか、改めて振り返りましょう。それを踏まえて、読み手に納得してもらえるように考えを書いて伝えることについて、学んだことを書きましょう。

活用する際のポイント

- ④～⑥では、文章について着目する点を明確にすることが重要である。そのため、アイディアを提案する文章については、自分の考え方とその根拠を簡潔に書かせることが効果的である。
- 他教科等の学習との関連を図り、生徒や学校の実態に応じて別の話題を取り上げて書くことも考えられる。

16

スピーチをする(第2学年)

学習の流れ

- ①学習の見通しをもつ。
- ②「令和7年度全国学力・学習状況調査 中学校国語 大問2(改変)」を読み、〈スライド②〉から〈スライド④〉が、どのような役割か考える。
- ③〈スライド①〉の候補をもとに、スライドのもつ役割について考えを広げる。
- ④5枚目のスライドについて、村田さんの考えが聞き手に伝わるように、各自でスライドを作成する。
- ⑤各自でスライドの内容を改善する。
- ⑥修正したスライドを〈スライド⑤〉に当てはめて、グループ内でスピーチをし、スライドの工夫によってどのような効果があったか話し合う。
- ⑦学習を振り返る。

スピーチをする

① 学習の見通しをもつ。



スライドなどの資料を使って話をするときには、自分の考えが伝わるように工夫することが大切です。今回の授業では、スライドをどのように使うと効果的かを検討しながら、実際にスピーチをすることを通して、自分の考えが分かりやすく伝わるスピーチにするための表現の工夫について考えてみましょう。

学習指導要領における内容

(第2学年) 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと ウ
資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるよう
に表現を工夫すること。 《表現、共有(話すこと)》

学習の系統性を意識しよう

中学校 第2学年（思考力、判断力、表現力等）A 話すこと・聞くこと
ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

資料や機器を用いるとは、話の内容に関する本、図表、グラフ、写真などを含む資料、コンピュータのプレゼンテーションソフトなどのICT機器を必要に応じて使うことである。資料や機器を用いるのは、話の要点や根拠を明らかにしたり、説明を補足したり、中心となる事柄を強調したりするなど、聞き手に分かりやすく伝えるためである。目的や状況、相手に応じて、様々な資料や機器を用いながら話すことにより、話し手の考えが正確に伝わり聞き手の理解をより深めることになる。

話し言葉の特徴や、視覚に訴えることの効果などを踏まえ、どのような資料や機器をどのように用いればよいのか、伝えたい内容を適切に伝えるために有効かなどについて考え、必要な資料や機器を検討することが重要である。

小学校 第5学年及び第6学年（思考力、判断力、表現力等）A 話す・聞く
ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

19

授業アイディア例2 スピーチをする

② 「令和7年度全国学力・学習状況調査 中学校国語 大問2(改変)」を読み、〈スライド②〉から〈スライド④〉が、どのような役割か考える。

※ 〈スライド①〉と〈スライド⑤〉は授業で検討するため、生徒には提示しない。

〈スライド②〉

マリーゴールドの種



〈スライド②〉は、マリーゴールドの種の写真が示されています。それによって、マリーゴールドの種が実際にどのようなものか分かります。

20

〈スライド③〉

「つなごうマリープロジェクト」の長所

○残った種を活用できる

○地域の方にも楽しんでもらえる

こちらも持続可能

〈スライド④〉

「つなごうマリープロジェクト」の内容

○残った種を地域の希望者に配布

・学校行事や地域の行事で

・育て方のポイントを書いた
カードを添えて

〈スライド③〉と〈スライド④〉は似ていますね。

〈スライド③〉と〈スライド④〉は、「つなごうマリープロジェクト」の長所や内容を箇条書きで示しています。それによって、大事なポイントが印象に残り、話の内容が分かりやすくなります。

21

授業アイディア例2 スピーチをする

③ 〈スライド①〉の候補をもとに、スライドのもつ役割について考えを広げる。



〈スライド①〉の候補として「A」「B」「C」があります。それぞれのスライドの内容をグループで確認し、そのスライドを使った場合、【村田さんのスピーチ】の空欄にどのような言葉が入るかも考えましょう。

〔〈スライド①〉の候補〕

Q : 「マリープロジェクト」の魅力は？

A : 咲いた花を楽しむ

+

手入れをしながら成長を見守る

「マリープロジェクト」に参加していく
感じよさは？（複数回答）

1位 学校が明るくなやかになること (80%)

2位 友達と一緒に楽しく活動できること (75%)

3位 手入れをしながらマリーゴールドの
成長を見守ることができること (60%)

A 「Q & Aで示す」

B 「アンケート結果を
ランキング形式で示す」

「マリープロジェクト」



C 「図で示す」

22

Q : 「マリープロジェクト」の魅力は？

A : 咲いた花を楽しむ
+
手入れをしながら成長を見守る

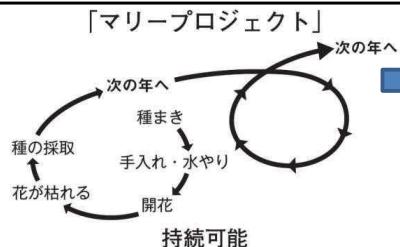
[グループで話し合っている場面の例]

AのスライドはQ & Aの形になっていることで、話のポイントが的確に伝えられますね。「二つの魅力があること」を話すと、答えの部分が印象に残るようになると思います。

「マリープロジェクト」に参加していく感じのよさは？（複数回答）

- 1位 学校が明るくなはやかになること（80%）
- 2位 友達と一緒に楽しく活動できること（75%）
- 3位 手入れをしながらマリーゴールドの成長を見守ることができること（60%）

Bのスライドの情報は、自分だけではなく他の人の意見も分かってよいですね。「参加すると様々なよさを感じられること」を話すと、相手に活動のよさが伝わりやすくなります。



Cのスライドは、持続可能ということが、図で伝わりやすくなっています。「次の年につながる持続可能な活動であること」を話すとよいですね。

23



それぞれのスライドによさがありましたね。では、実際にグループの中でAからCを分担して発表してみましょう。発表を聞きながら、自分たちが考えたスライドのよさがスピーチに表れているか、聞き手の立場からも確認しましょう。

※ 発表を通して、確認したことや新たに気付いたことをさらに交流する。



この時間では、スライドの役割について考えましたね。
スライドを示しながらスピーチをする際には、スライドのもつ役割を考えながら、話す内容を工夫することが重要です。
また、実際にスピーチを行いながらスライドの内容がよりよいものになるように改善していくことが大切です。

24

スピーチをする

- ④ 5枚目のスライドについて、村田さんの考えが聞き手に伝わるように、各自でスライドを作成する。



前回は、何のためにスライドを用いるのかを考えて使うことが重要だということを学習しました。今回の授業では、それを踏まえて、1人1台端末を使って実際にスライドを作ります。村田さんのスピーチでは、スライドを使いながら「つなごうマリープロジェクト」についての説明をしています。村田さんに代わって5枚目のスライドを作成してみましょう。

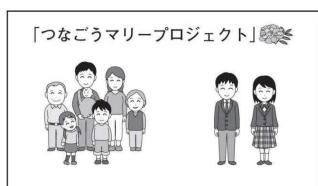
[作成途中のスライドの例]

「つなごうマリープロジェクト」

25



話し手の伝えたい内容がより適切に伝わるスライドにするために、工夫の仕方を考えていきましょう。
次に示したのは、作成途中のスライドの例です。どのように工夫したらよいでしょうか。



スライドの下の空いているところに、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加えるとよいと思います。スピーチで話す「花を育てる楽しみが地域にも広がります」ということが強調されて、伝わりやすくなると思ったからです。

スライドの背景をマリーゴールドの写真にすることで、「学校と地域が、マリーゴールドでつながる」という、村田さんの伝えたいことが視覚的に伝わると思うよ。



スライドを作成するときは、伝えたい内容が効果的に伝わるように工夫することが大切ですね。

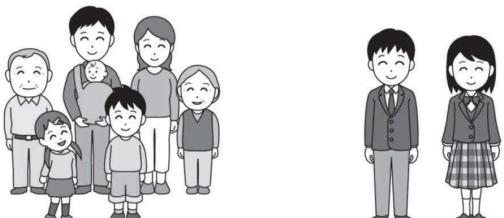
26

スピーチをする

⑤ 各自分でスライドの内容を改善する。

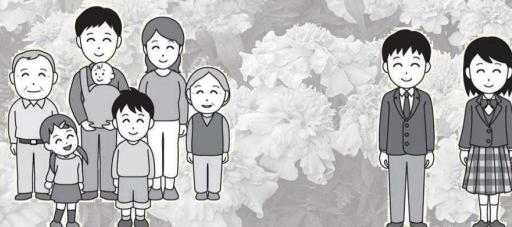
[改善したスライドの例]

「つなごうマリープロジェクト」



花を育てる楽しみを地域へ

「つなごうマリープロジェクト」



27

スピーチをする

⑥ 修正したスライドを〈スライド⑤〉に当てはめて、グループ内でスピーチをし、スライドの工夫によってどのような効果があったか話し合う。



スライドを作るときにどのように工夫しましたか。また、その工夫によって、どのような効果があったかについて具体的に話し合いましょう。

[グループで話し合っている場面の例]

私は、〈スライド⑤〉にマリーゴールドの写真を入れる工夫をしました。どうでしたか。

実際の写真があることで、活動のよさが、イメージしやすいと感じました。

スピーチの最後に話していた、すてきな活動だということが分かりやすくなっていますね。

28

スピーチをする

⑦ 学習を振り返る。



スライドなどの資料を使って話をするときには、伝えたい内容に沿って資料や機器が活用されているかどうかを確かめることが大切ですね。

また、資料や機器が効果的に使っているかを検討する際には、実際にスピーチを行なながら、話の内容やスライドがよりよいものになるように改善していくことが重要です。

振り返りの観点の例

- ・これまでに学習したことでのこの単元の学習に生かしたことはどうなことか。
- ・スライドを示しながらスピーチをする際に、どのような役割を意識してスライドを作成したか。
- ・資料や機器を使って発表する際、自分の考えが分かりやすく伝わるように、今後どのような表現の工夫をしたいか。

活用する際のポイント

総合的な学習の時間など、他教科等の学習と連携し、国語の授業で学んだことを生かすことが有効である。

29

文学的な文章を読む(第1学年)

学習の流れ

- ①学習の見通しをもつ。
- ②「一 檻木の実」を読んで、内容を確認する。
- ③「二 釣の話」の途中(調査問題15ページの9行目「大喜びで小川の方へ出掛けて行きました」)までを読んで、その後の展開を予想する。
- ④物語の続きを読んで、気が付いたことを確認する。
- ⑤物語の全体を見て、構成や展開の効果について考える。

30

① 学習の見通しをもつ。



島崎藤村の「二人の兄弟」を読んで、構成や展開について考える学習をします。なぜそのような構成や展開になっているか、それがどのような効果につながるか考えていきましょう。

学習指導要領における内容

(第1学年) 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと 工

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。
《精査・解釈》

学習の系統性を意識しよう

中学校 第1学年 (思考力、判断力、表現力等) C 読むこと

工 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

文章の構成や展開について考えるためには、文章の組立てや作品の場面を捉えてその構成を理解するだけでなく、考えの進め方や登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えその展開を把握することが求められる。文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることが重要である。 (中略)

これらについて考える際には、根拠を明確にすることを重視する必要がある。具体的には、例えば、文章の構成や展開、表現の効果について自分の考えを書いたり発表したりする際に、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げることが考えられる。

小学校 第5学年及び第6学年 (思考力、判断力、表現力等) C 読むこと

工 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

文学的な文章を読む

② 「一 檻木の実」を読んで、内容を確認する。

[生徒の発言の例]

「気長な兄」と「気の短い弟」が「丁度好い時」を覚えた話です。

お爺さんが二人の兄弟に榎木の実を拾うタイミングを教えてあげています。

③ 「二 釣の話」の途中(調査問題15ページの9行目「大喜びで小川の方へ出掛けた行きました」)までを読んで、その後の展開を予想する。



この続きはどうなると思いますか。また、そう思ったのはなぜですか。「一 檻木の実」の内容を踏まえて、グループで話し合いましょう。

33

[グループで話し合っている場面の例]

「一 檻木の実」で、お爺さんに教えてもらったことを思い出して、魚を釣ることに成功すると思います。

「一 檻木の実」と「二 釣の話」では「丁度好い時」が違うから、また失敗を繰り返すと思います。

「一 檻木の実」と同じように、一度失敗してお爺さんにまた教えてもらうと思います。



皆さん、「一 檻木の実」の構成や展開を踏まえて、「二 釣の話」のこのあとの展開を予想できていますね。

34

文学的な文章を読む

④ 物語の続きを読んで、気が付いたことを確認する。

[生徒の発言の例]

今度はお爺さんが教えてくれる場面がありません。

二人の兄弟は「丁度好い時」を覚えたはずなのに、また同じ失敗を繰り返しています。



予想した展開になった人もいれば、意外な展開になつた人もいたと思います。次回は、こうした展開による効果について考えていきましょう。

文学的な文章を読む

⑤ 物語の全体を見て、構成や展開の効果について考える。



前回は「二人の兄弟」を読んで、構成や展開を確認しました。物語全体がこのような展開になっていることで、どのような効果がありますか。

※ 「構成」「展開」「効果」の意味を捉えられない生徒に対しては、必要に応じて別の言葉に置き換えたり、具体例を示したりするなどして、自分なりに考えられるようにする。

[生徒の発言の例]

「一 榎木の実」で成功した話のあとに、「二 釣の話」が続くことで、魚釣りに成功すると思っていた読者の予想を裏切って驚かす効果があると思います。

「一 榎木の実」でも「二 釣の話」でも失敗を繰り返すことで、人は簡単には変われないということが読者によく伝わります。

「二 釣の話」には、お爺さんが「丁度好い時」を教える場面を書かないことで、その後の様子を読者に想像させる効果があると思います。



物語など文学的な文章を読むときには、皆さんが考えたように、構成や展開に着目して、なぜそのようになっているか、それがどのような効果につながるかについて自分なりに考えることが大切です。

※ このあと、別の文学的な文章を読んで、構成や展開について考える学習を行うことも考えられる。

活用する際のポイント

- 作品によって、構成や展開の特徴は異なる。その作品の特徴的な構成や展開に着目して、その効果について考えさせることが大切である。
- 文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることが重要である。

37

学力向上のための授業改善



改善のポイント

①基礎・基本を定着させるため、既習事項を活用する場面を設定する。

②学びに対する興味・関心を高める工夫をする。(主体性を育む。)

- 日常生活から題材を探す等、実生活と関連させる。

- どの指導事項の定着に課題があるのかを明らかにして、指導計画等に反映させる。

- ICTの活用等により、考えを共有させる。

- 分かりやすい板書や学びの蓄積となるノートの指導の工夫をする。

③言葉による見方・考え方を意識した授業展開を考える。

④指導事項が身に付くような効果的な言語活動を設定する。

⑤振り返りを重視する。

- めあてとの関連を意識した、書くことによる振り返りをさせる。

- 自身の授業を振り返り、次の指導に生かす。

- 「努力を要する」状況の生徒への手立てを考える。

38



学習の見通し・振り返りについて

【見通し】のポイント

「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶのか」を、生徒が理解することが大切

※ **授業の始めには、めあてを提示し、問題解決への意欲を高めよう。**

【振り返り】のポイント

・自己評価(生徒自身の言葉で記述)

・「見通し」と対に

※ **授業(単元)の終わりには、めあてに対応した振り返りの時間を確保しよう。**

生徒の「振り返り」を吟味し、**教師自身の指導を振り返り**、次時の指導に生かそう。→ **「指導と評価の一体化」**

学力向上に向けた授業力の改善・充実を図るために、「見通し・振り返り」活動が大変有効である！